

スギドクガ

春にスギなどの葉を食べる毛虫。最大長約40mm。体は黄緑色、白い線がある。
ドクガの名が付くが毒はない。ただし、触ると体毛が皮膚に刺さることがある。



1. 幼虫, 1962/10/18, 由仁町, トドマツ.

【学名】 *Calliteara argentata*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) , ドクガ科 (Lymantriidae)

【生態】

スギの他にヒノキ, サワラ, ビャクシンにつく。

幼虫が小さいとき、体を糸で葉に固定し越冬する。幼虫が成長する春に食害が目立つ。古く硬い葉を好んで食べ、枝先端の新葉を残す。十分成長すると葉の間に薄い繭をつくって蛹になる。夏に成虫になる。

秋に幼虫が孵化するが、小さいため食害は目立たない。

【被害】

本州などでは森林や緑化樹のスギで多発することがあるといわれている。

道内にも分布するが、これまでのところ森林・緑化樹いずれにおいても多発は記録されていない。

【文献】

1994. 柴田叡式. スギドクガ. 小林富士雄, 竹谷昭彦, 編集, 森林昆虫, 総論・各論: 284-286. 養賢堂, 東京. (形態, 生態, 防除)

kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/8/17.

yochu.jpg

「写真 1」 上条一昭, 北海道立林業試験場, 1962.